

新羽高校の校長が受検生のために作った新聞

羽ばたきの丘通信

令和5年4月24日 第1号

編集・発行 新羽(につば)高校校長 勝股 正

創刊記念企画

「校長が乗ってみた(新横浜線編)」

新羽高校の校長が編集する新聞

新羽高校校長が編集・発行する「羽ばたきの丘通信」をご覧くださいありがとうございます。この新聞は、新聞といいながら、本校公式HPに掲載しているwebマガジンです。新羽高校に興味を持ち、新羽のことを知りたい中学生の方たちのために、校長が企画、取

材、編集、発行していきます。どうぞよろしく
お願いいたします。

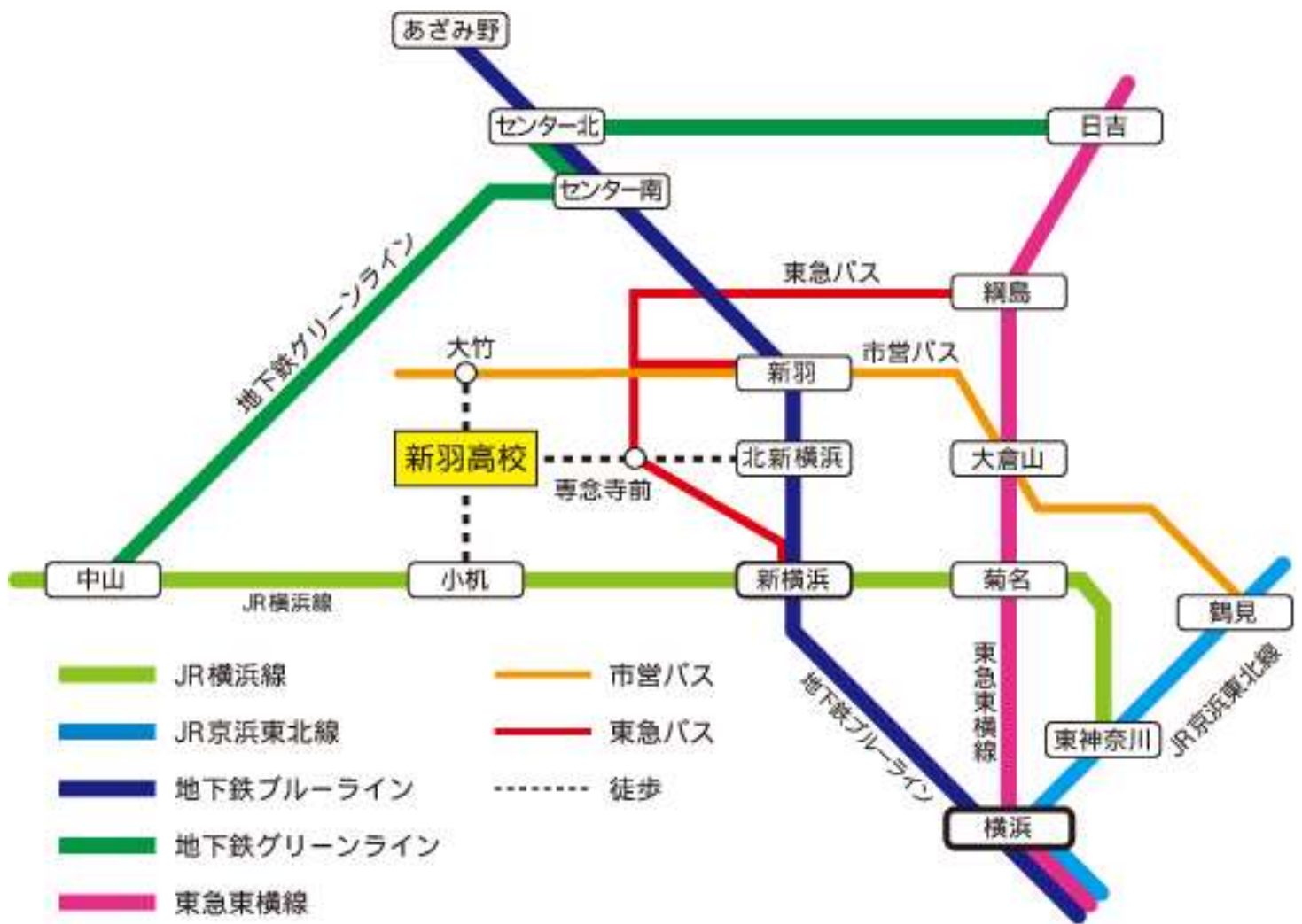
校長が、開通間もない「新横浜線」に
乗車して登校してみる

記念すべき第1号の企画は、校長自らが、新
羽生の通学ルートを実際にたどってみるとい
う、題して「校長が乗ってみた」です。

令和5年3月18日（土）、相鉄と東急が相互
乗り入れする「相鉄・東急新横浜線」が開通
しました。

このニュースは、テレビ等でも大きく取り上
げられ、都心への、相鉄線沿線からのアクセ
スが大幅に向上すると話題になりましたが、

私は、この新横浜線の開通により、少し大き
さかもしれませんが、神奈川県立高校の受検
地図が大きく塗り替えられる可能性があると思
っています。



新横浜線開通前の新羽高校へのアクセス(本校HPより)

例えば、新羽高校は、新横浜駅の隣の「北新横浜駅」から徒歩13分ほどの場所にありますから（新羽高校の最寄り駅は、「新羽駅」ではなく「北新横浜駅です！」）、新線の開通により、本校通学の利便性の向上が期待されます。

そこで、校長が、実際に朝の時間帯に乗車して、生徒の立場になって登校してみて、本当に便利になったのか確かめようというわけです。

｜ 新横浜線のルートは

新横浜線は、西谷—新横浜間の相鉄新横浜線と、新横浜—日吉間の東急新横浜線の二路線

実際、どの程度便利になったのでしょうか。

相鉄線二俣川からスタート！

4月12日（水）7時30分過ぎ、私は相鉄線二俣川駅にいました。



二俣川駅は、相鉄本線といずみ野線が乗り入れている、特急や通勤特急も停車する、相模鉄道の中なかでも重要駅の一つです。

朝の時間帯は、2〜3分おきに電車が発車します。

これまでの横浜駅行きと、西谷駅で新横浜線として分岐する列車の両方が発車するので、間違えないよう乗らなければいけません。

7時47分発の「通勤特急新宿三丁目行き」に乗車します。開通したばかりだからなのか、横浜行きの列車に比べ、比較的空いています。

西谷駅からは、地下に潜ります。そして、8時00分に新横浜駅着。

二俣川を出てから13分で新横浜に着いてしまいました。



新横浜線のプラットフォームは、地下4階にあるので、横浜市営地下鉄ブルーラインへの乗り換えは、時間がかかるかと思ったのですが、8時5分発のあざみ野行きに間に合いました。

そして、ブルーラインに乗車して2分後、新横浜駅の隣の、北新横浜駅に到着。



北新横浜駅から、徒歩で約**13**分、新羽高校に到着しました。

時刻は、**8時20分**。新羽高校では、**8時50分**に出席を取りますので、まだ**30分**も余裕があることとなります。

二俣川駅を出てから、33分で新羽高校まで来られました。従来の、横浜駅を経由するルートだと、50分近くかかると思いますので、相当時間短縮になりました。

新横浜線はやはり便利

新しく出来た、新横浜線が便利なのが分かっていただけたと思います。

これだけではありません。今回は乗りませんでしたが、東急新横浜線を使うと、日吉駅から新横浜駅まで7分ですから、武蔵小杉など、川崎市に住んでいる方たちも、新羽高校に通いやすくなったと思いますし、相鉄線が通る、大和市、海老名市、藤沢市の方たちに

とっても、通いやすくなったと言えるのではないのでしょうか。

中受検生の方たちの選択の幅がひろがりました

私が、今回、新しい路線の開通を取り上げたのは、新羽高校校長として、単に自校の宣伝のためだけではありません。

本校に通いやすくなったということは、逆にいえば、横浜北部地域の受検生が、県央、湘南地区の高校に通いやすくなったということでもあります。

つまり、神奈川県立高校を志願する受検生の選択の幅がひろがったということです。

このことを、県立高校の校長の一人として、
喜ばしく思うとともに、あらためて、新羽高
校の魅力と特色を多くの方に知ってもらいた
いと思うのです。

そのために、今後も、この通信を発行してい
きます。読んでいただけたら幸いです。

また、[「新羽高校【公式】」](#) [ツイッター](#)を始
めました。新羽高校の最新情報を提供する強
力なツールです。フォローをお願いします。

編集後記

羽ばたきの丘通信第1号を最後まで読んでい
ただいてありがとうございます。私は、高校
選びは、偏差値や受かりやすさではなく、その
学校の「よさ」や「特色」で決められるべきだ
と思っています。そのために、新羽高校の情報

を少しでも多く発信していきたいと思っています。
是非、今後ともよろしくお願いします。

ところで、なぜ、この新聞の名前を、「羽ばたきの丘通信」にしたのでしょうか。それについては、次号でお話したいと思います。

次号もよろしくお願いします。